

議会だより



1年生を迎える会
全員でトレーニングゲーム

小学校の日常 No.3 「有屋小学校」

「瞳を輝かせ新たなことに挑戦する竜馬っ子」を学校目標に、高学年のリーダーシップで団結ある学校生活を進めていると語る八鍬校長先生。1年生10人、2年生4人、3年生8人、4年生4人で複式、5年生6人、6年生6人で複式、計38名が挑戦する「竜馬っ子」を目指している。



6年児童が
1年生に読み聞かせ



低学年生活科でサツマイモほり
大収穫に大満足

新年のあいさつ	2P
政策提言書提出	3P
12月定例会	4～5P
5名が町政を問う【一般質問】	6～10P
(中村、高橋(浩)、高橋(芳)、須藤、早坂 各議員)	
常任委員会	11P
議会報告会の意見はどうなった	12～13P
10月臨時会・全員協議会	14P
議員研修	15P
町民の声・ギインコラム	16P

12月定例議会

No.108

【平成29年2月3日発行】

山形県金山町議会

検索



新年のごあいさつ 「町民の声を町政へ」



新年あけましておめでとうございます。

この正月は、温暖で雪も少なく、町民の皆様には、お健やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、金山中学校スキー部が、県中学校スキー大会で男女総合優勝を皮切りに東北中学校スキー大会リレー競技で男女アベック優勝に輝くなど、年明け早々から明るく、町民を勇気づける喜ばしい出来事から始まり、大きな災害や事故もなく平穏な一年ではなかったかと思えます。

町議会につきましては、町の全世帯からご協力をいただき、「議会に関するアンケート」を実施させていただきました。その中で、要望が多い事項について、町民の福祉向上に繋がるよう議員全員で幾度となく協議を重ね、政策提言

として四項目にまとめ、議会報告会で意見をお聞きしたうえで町長に提言したところでございます。

今後は、皆様からいただいたご意見が活かされ、実現されるため政策提言の進捗状況を検証していきたいと考えております。

また、議員一同、皆様から身近で、開かれた議会と感じていただくため、ひとり一人の声を町政に届け、その声が実現できる「存在感のある議会」となるよう努めて参りますので、引き続き、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。次第でございます。

結びに、町民ひとり一人が元気で明るく、金山町全体が輝ける一年になりますようご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

平成二十九年一月吉日

金山町議会議長 柴田 清正



後列左より 高橋浩樹議員 中村忠行議員 沼澤道也議員 早坂憲明議員 高橋芳夫議員
前列左より 栗田保則議員 寒河江宏一副議長 柴田清正議長 矢口政一議員 須藤典夫議員

町長へ政策提言書を提出

議会に対するアンケート結果を基に議員間で協議を重ね、まとめた政策提言を11月29日町長に提出した。（詳しくは左山形新聞参照）

提言1 安全・安心

で住みよい暮らしのために

1. 住民に対する非難情報の伝達や、関係機関、消防団、自主防災組織等との連携

と備蓄の推進

2. 危険空き家除去の積極的な推進
3. 流雪溝整備の推進と、融雪システムなど新たな雪対策の研究

の検討

3. 他町村との共催による婚活イベントや「やまがた縁結びたい」を活用と、町独自の婚活支援の検討
4. 町立診療所を介護療養型医療施設（療養病床）として活用

提言3 豊かな農村

を次代に引き継ぐ農業振興方策

1. 担い手不足対策や土地利用の高度化のため大規模ほ場整備

5. 介護職の確保対策の検討と、認知症予防対策の強化

6. 高齢者集合住宅の将来的なニーズを把握し、課題整理と導入についての検討

の推進

2. 地域農業の拠点となる施設整備の導入についての検討

3. 集团的園芸振興策による生産販売の拡大と農業での雇用拡大の推進

4. 大学教授等を含む審議会を設置し、新農業振興計画の策定

提言4 交流・観光

の拡大による賑わいの創出

1. 町の見せ方の工夫、お土産品の開発、文化的事業などの拡大によるリピーターの定着化
2. 東北中央自動車道の供用を見据えた道の駅構想の早期検討

3. 産直施設の品揃えの拡大方策、移動販売、集合店舗（ショッピングモール化）の可否の検討とスーパー等誘致の検討

金山町長に議会提言書を初提出

金山町議会（柴田清正議長）は29日、町政に関する初の政策提言書を鈴木洋町長に提出した。提言は少子高齢化対策、子育て支援、防災、農業振興、交流拡大と多岐にわたり、町づくりに生かすことを求めた。提言書は▽安全・安心▽人口減少対策▽農業振興策

▽交流・観光拡大の4項目。その中で、危険空き家除去推進、流雪溝整備、企業の新規雇用支援、婚活支援、高齢者住宅導入、大規模ほ場整備、道の駅、移動販売・スーパー誘致など具体的政策の検討を求めた。町議会は昨年12月の町民アンケートを基に、要望の多かった課題、意見を分析した上で提言をまとめた。今年10月の議会報告会で提言内容を説明、評価する町民が多かったため、町長宛てに提出することにした。

- 提言2 人口減少防止（雇用・定住・子育て支援、高齢化対策）について**
1. 企業の雇用支援、貸工場方式による若者の雇用、街なか公営住宅・定住促進住宅の整備や、「雇用バンク」等窓口の設置
 2. 幼稚園への通園費、保育料、給食費の段階的な無料化と中学生の路線バス無料化



議長から町長へ政策提言書提出（11/29）

農業委員 法律改正で7月より新体制へ

〔選挙なし、町長提案、議会承認へ〕

— 12月定例会 —

12月定例会が12月7日から12日までの6日間開催され、一般会計補正予算、特別会計補正予算6件、農業委員会委員の定数8名、最適化推進委員の定数4名とする条例の認定など町長提出議案15件、議員発議2件を全員賛成で可決した。一般会計の補正予算は2千10万円の減額で補正後の予算額は48億6千260万円となった。主な内容は、第2貸工場の事業費が6千577万8千円の減額したため減額補正となったものである。



第31回 農業委員会総会（1/25）

政策財政監 Wi-Fi環境

環境整備課長 定住促

【議第76号～84号】
中村忠行議員 地域おこし協力隊専用ネット回線の作業内容と活用方法は。

高橋芳夫議員 下水道建設費は、金山木材の跡地なのか。

議案への質疑応答要旨

進住宅全体設計は、今年度を目途に策定中で、その一部に公営住宅3棟の建設を進めているための工事費である。
高橋浩樹議員 地方創生推進交付金と木質資源利用交付金との関係はどのようなものか。
政策財政監 木質推進事業とは別の補助で中田地域で現在取り組んでいる5年間の活動補助である。
沼澤道也議員 かねやま子育て応援カンパニーの認定と子育て支援の拡充との関係性は。

町長 認定された企業には、急な子育て上の時間休暇が発生した場合、時間給を町が補てんすることなどで子育て支援の輪を広げていくことを目的としている。
須藤典夫議員 診療所

の診療収入減の積算と3月末での補正はないのか。
診療所事務長 診療収入は、昨年度実績の95％程に見込んでいる。これは、入院患者、外来患者数の減が主である。今後も患者の動向に注視していきたい。
早坂憲明議員 地方創生費（木質資源利用交付金）補正の中身と今後の実施主体は
産業課長 8/31協議会設立後の意見を踏まえ予算を組換えの補正である。実施主体については、今後の活動を踏まえ整備していきたい。
寒河江宏一議員 地域おこし協力隊員の今後の動向と採用をどのように考えているのか。
政策財政監 3年目を迎える2人は、山形市と町内で起業すると聞いている。来年度については2人の採用を検討している。

12月議会定例会提出議案

— 全員賛成で可決 —

1. 各会計補正予算（共通事項として人事院勧告に係る人件費、財源調整等による特別会計繰出金）

議運番号	会計名	補正の主な内容	補正額(万円)	補正後(万円)
78号	一般会計	・第2貸工場設置工事▲6577万円 ・臨時福祉給付金(事務費含む)1989万円 ・子育て応援プロジェクト107万円 ・全国、東北中学校スキー大会派遣224万円 など	▲ 2010	48億6260
79号	国民健康保険特別会計(事業勘定)	最上地区広域連合負担金など	▲ 306	8055
	国民健康保険特別会計(直診勘定)	人件費の増、工事費の減など	▲ 45	3億6792
80号	介護保険特別会計	人件費、システム改修など	115	7億4459
81号	後期高齢者医療特別会計	人件費、保険基盤安定負担金など	▲ 99	6221
82号	農業集落排水事業特別会計	明安・有屋地区処理場修繕費	60	7376
83号	公共下水道事業特別会計	人件費、公共枅設置工事など	319	1億5183
84号	水道事業会計	人件費	▲ 37	2億889

2. 補正予算以外の議案

議運番号	案件名	議案の内容
76号	特別職の職員の給与に関する条例の一部改正	人事院勧告に準拠した改正
77号	一般職の職員の給与に関する条例の一部改正	人事院勧告に準拠した改正
85号	農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数に関する条例の設定	農業委員会等に関する法律改正により、農業委員の定数を8名、農地利用最適化推進委員の定数を4名と設定したことなど
86号	職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正	人事院勧告に準拠した改正
87号	税条例の一部を改正	所得税法の一部を改正する法律等の改正に伴い、必要事項を改正するもの
88号	介護保険条例の一部を改正	地方税法施行規則等の一部を改正する省令の公布に伴い、必要事項を改正するもの
89号	新庄市との新庄最上定住自立圏形成協定の変更	水道事業の広域連携の追加
90号	固定資産評価審査委員会委員の選任	川崎栄治氏(羽場、54才)の任期が12月22日で満了となるため、引き続き選任したもの

3. 議員発議、請願

議決事項	事件名	事案の内容
発議第4号	地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書	地方議会における人材確保の観点から厚生年金加入のための法整備を求めるもの
発議第5号	金山川河川公園遊歩道整備を求める意見書	9月定例会前に提出された請願を継続調査としていたが、12月定例会で採択になったことから金山川河川公園の遊歩道整備を求めるもの
請願第5号	30年産を目途とする生産数量目標配分の見直しにかかる金山町地域農業推進協議会の機能発揮に関する請願	・請願者 金山農業協同組合代表理事組合長及び金山農協農政対策本部長 柴田義正氏 ・請願内容 米の生産調整のため地域農業推進協議会の予算、人員の確保など機能発揮の働きかけ ・審査結果 「採択」



中村 忠行 議員

観光交流受入れ体制について

中村忠行議員 「地域おこし企業人交流プログラム」を活用し、観光業の専門家に委嘱する考えは。」

丹産業課長 「地域おこし企業人交流プログラム」は、地方自治体と企業が協力して地方圏への人の流れを創り出す取り組みに、国が支援するもので、県内では、戸沢村が「最上川ミュージック花火大会」を開催している。

金山は「観光地化」していない良さもあるもので、専門家を受け入れて事業展開するよりは、これまでの観光素材の



Wi-Fiを導入したシェネスハイム金山

売り込みに加え、旅行代理店等と連携し、情報発信を強化し、PRに一層努める。

中村議員 町内で100人以上の団体の飲食受け入れ態勢は。」

産業課長 「シェーネスハイム金山」のレストランは最大収容80人で、町内の施設では難しい状況にある。

中村議員 改善センタ

ーを会場に、町の特産品を使ったメニューを町内の飲食関係者に提案して頂き、改善センターで提供する事は出来ないか。

産業課長 農村環境改善センターは、最大200人程度まで可能であり団体旅行者が入れるだけの会場の容量は備えているが、町内外の事業が予定されており、会場として確保できるか、100人を超える規模の接客に応じられる主体を組織化できるかが問題である。

町の特産品にこだわったメニューについては、「春のかねやま」「秋のかねやま」といった季節限定での対応は出来ないかなど、飲食店をはじめとする関係者と意見交換を行ったう

えで、その可能性を検討する。

中村議員 インバウンド対象事業として、町内への無料Wi-Fiスポット設置方策と、町のホームページの外国語表記は。」

町長 タブレットを含

めてWi-Fi環境設備も必要になって来るが、回りに影響の無いように考え配置する事が必要であり、「マルコの蔵」などに整備出来れば、使い勝手も良いかと思う。併せてタブレット型の多国語通訳ソフトを検討したい。

上台視点場(駐車場)整備について

中村議員 アルカディア復興計画モデル事業の再考は。」

藤山環境整備課長 国



上台視点場からの展望

道13号から進入する際には、急カーブ内に位置する事から、右折レーン等の設置が必要であり、国への視距改良、整備を要望しているが、国では、高規格道路整備を優先しており、現段階では難しい状況にある。また、カーブ沿いにある山を全部削るとの意見も有るが、前方の風景をさえぎる視界があることによって、一斉に広がる眺望が、金山町らしい風景として、評価されていると

考えている。高規格道路整備の進捗に合わせ、時間を掛け注視し、国や関係機関と協議を重ねる必要があると考えている。

中村議員 未活用町有地は公共資産では無いとの意見も有るが、安全を最優先しつつ、早急に進めるべきではないか。

町長 国道13号から安全に侵入出来る侵入路を国に要望はしているが、もう少し時間がかかると思う。

上台町用地の活用を出来るだけ早く進められる様努力するが、新庄から来る分だけ入れる様には、出来ないのが現実だと思う。高規格道路整備と併せて、協議しながら進めて行く。

冬期間の私道除雪は

回答 要望に応じて対応している



高橋 浩樹 議員

除雪道路認定基準を定め私道除雪に取り組む考えはないか

高橋浩樹議員 平成24年に町道認定基準要綱を策定し、町道認定に一定の線引きがされた。町道路線認定に係る請願の多くは冬期間の除雪を望む道路整備の要望だと考える。冬期間の生活道路確保は、防災・福祉(地域包括ケアの構築)・教育(通学)、通勤、等、連動し住民生活の基盤となる、高齢となった除雪困難者から相談が寄せられる前に、克雪対策の一環として生活道路の除雪に取り組めないものか。

藤山環境整備課長 町道認定路線は増加しており、町道の増加は財



町内の私道

政に影響を及ぼし、町道の適正な維持管理が困難になるため、金山町町道認定基準要綱を制定した。除雪は基本的に町道認定道路だが、高齢者世帯等の状況を地域包括支援センターや、民生委員の要請を健康福祉課が受け、除雪支援が必要な状況にあるか、福祉サイドで判断したうえで環境整備課と連携して除雪作業を行っている。また、金山町積雪寒冷対策連絡協議会において、区長や関係者の方から意見を伺い、除雪支援を行っている。除雪実施路線については、一定の基準が確保されていると考える。

高橋議員 要望があっ

た場合には、私道除雪にも対応しているという事だが、定住促進を図る上で行政の側からふみこんで私道除雪に取組む必要があるのではないか。舟形町では、私道の除雪道路認定基準を策定し、今冬から生活道路の試験除雪実施を予定している様だが、町でも検討して頂きたい。

6次産業課を推進する加工施設設置の考え

高橋議員 6次産業化と農業振興、地産地消、土産品開発、雇用創出は連動するものと考えている。大蔵村では農産品加工施設建設に着手した。6次産業化の推進は、地方再生に有効な施策と考えるが、町でもさらなる支援策としてお菓子の工場の設置といった、より大規模な支援が必要ではないか。売れる土産品、特産品開発の難しいところは商品開発と同等に、パッケージデザイン、日持ちする包装、梱包

も重要になる。こうしたパッケージデザイン包装も出来る施設、出来ればフリーズドライ機器等も導入した加工施設を、既存施設を活用し、町の新土産品ファールセックの様な加工技術の高度な製品加工施設の設置に取り組む考えはないか。

丹産業課長 6次産業化を推進する町の支援策、「新規開発事業」の中で、町で採りたいち

ごや野菜をジェラートにした商品PR等に対する経費補助事業がある。具体的には町内産の、米やニラ、山菜等の農林産物を活用した土産品の開発を支援する考えである。新たな6次産業化と土産品開発は生産者の意欲が大それたと考える。生産者と情報交換する機会を設定し、可能な支援策を検討していきたい。

町長 既存の建物を改修し、そこに包装、袋詰めなどの機械を設置することが、過疎債の対象になるのか。また、

既存の建物を活用できるかを調査したい。

交通弱者対策を考える

高橋議員 路線バスの停留所を桜クリニク前に設ける事はできないものか。

武内町民税務課長 道路幅員等様々な諸問題があり実現は難しい。

訪問看護師育成の連携は

高橋議員 第7次医療法改正で公立医療施設と民間法人医療施設が連携出来る仕組み作りが推進される形になった。地域包括ケアシステムを構築する上で、訪問看護師の育成と、町立診療所の在り方報告書の内容の改善策として、他の医療施設との相互研修が必要ではないか。

柴田診療所事務長 県立新庄病院など周辺病院に研究派遣をしながら、勉強してきた経緯もある。今後も関連する医療機関等に協力を頂きながら教育を受けられる体制を維持して行きたい。



高橋 芳夫 議員

高橋 芳夫議員 町の美化や安全な交通の確保のため、道路沿いの草刈りをしていく地区もあり大変ありがたいことである。

しかし、世帯数が少ない地区では、人手不足となり大きな負担である。県道では、一部除草剤を使用しているとのことだが、負担の大きい地区などから要望があれば除草剤を使用した除草は可能か。また、可能な場合、町から除草剤の支給や購入費の支援はできないか。

藤山環境整備課長 除草剤散布による除草は、



道路沿いの除草の支援を

いる。県道では、路肩に防護柵等が設置され支柱などが支障となる場合散布している。平成29年度から環境整備員の増員を検討し、できるだけ地域要望にお応えできるよう配慮していきたい。

地区での町道除草作業の軽減を

回答 環境整備員の増員も検討

高橋議員 町内において積雪により倒壊の危険がある空き家や、屋根の雪が道路に落雪し歩行者に危険を与えかねない空き家がある。冬期間の危険防止対策と、雪下ろしがなされない所有者への指導や、倒壊し被害を及ぼす恐れがある場合町でおこなう考えはないか。

武内町民税務課長 平成25年3月の町議会定例会で、金山町空き家等の適正管理に関する条例を可決した

き施行している。冬期間は、雪下ろしがなされないことから倒壊の危険性がある空き家や、屋根の雪が道路に落雪して歩行者等に危害を与えかねない空き家もある。空き家は、あくまで個人の財産で所有者等が適正に管理することが原則であり、町では所有者に助言や指導、勧告を実施していくが、危険な空き家の雪下ろしを町が実施することは考えていない。パトロール等により危険と思われる空き家については、歩行者や車、近隣住宅等に損害を与えた場合は所有者の管理責任になることをお伝えし、雪下ろしの対応等、適正な管理をお願いするとともに、条例に基づき助言等を行いながら、解体・除去を促して参りたい。



降雪期の空き家

町で危険空き家の雪下ろしはできないか

回答 個人財産のため考えていない

お年寄りの閉じこもりをなくす

回答 「地域包括ケアシステム」を始動



須藤 典夫 議員

「交通の足」への支援策を考える
須藤典夫議員 当町においては高齢者への福祉サービスに力を入れ、町民もある程度満足していたにいたるようだが、高齢者が快適な生活を送ることが健康寿命の伸長と、平均寿命の差を近づけることにもつながると思う。そのためには、新たな福祉施策も含め、健康で元氣な老人が生き生きと住み続けるために、どのような取り組みが今後必要と考えているか。また、閉じこもりからの認知症を防ぐためにも交通手段の支援としてバスやタクシー代の

「交通の足」への支援策を考える
五十嵐健康福祉課長 高齢の方が住みなれた場所、健康で生き生きと暮らすために町が中心となって、介護だけでなく医療や予防、生活支援、そして、住まいを包括的に提供する「地域包括ケアシステム」を構築することが必要である。高齢の方も受身ではなく、介護保険の理念にあるように介護予防を国民の義務と捉え、より積極的に健康づくりや介護予防の取り組みを進めるべく、特別会計と一般会計それぞれの予算化を図り、平成29年4月から実施していく。

手段がある。それと並行してデマンドタクシーの利用、高齢者の対策と高齢者の総合支援推進委員会の中で高齢者の交通手段の支援と、言う所の中に出てなかったという点も含めて、まだ議題等に至っていない。路線バスの担当等と、また他の会議での意見等伺いながら、これについて話をしていきたいと思っている。続けよう「ポスト育樹祭」

須藤議員 「全国育樹祭」は県内外に盛大なイベントとして話題となり、町の知名度も上がった。観光事業にも多大な貢献をもたらした。ここで休むことなく大きなイベントを計画し、観光事業の足掛かりを築きたいと考える。今後の計画はあるのか。また、観光拠点となる「まちの駅」の建設計画の用途は。 **丹産業課長** ポスト育樹祭ともいうべき大型のイベント開催は、現在具体的に開催している。全国的に育樹祭や育樹祭を開催した誇れるケースの「遊学の森」をフィールドとして実施できるようなイベント、例えば、ポールの最大行事と位置づけられる「日本ジャンボリー」とか、「緑の少年団全国大会」の後継イベントである「全国緑の子どもサミット」といった、交流や体験活動の開催地となり得ないか、主催者となる団体や県と情報交換を行いながら、その機運が高まれば町としても積極的に名乗りを上げていきたい。 **町長** 「町の駅」については30年から設計に入る中央公民館の改築に合わせて具現化を検討するということも重要なチャンスだと思っている。具体的な基本設計の段階で中央公民館の中に収まるかどうか、或いは付帯の建物が必要になるかどうかを検討していくと考えている。



第38回全国育樹祭（遊学の森）



早坂憲明 議員

小学生のスクールバス利用範囲拡大を

回答 スクールバスシステムの全体像を検討

早坂憲明議員 今の子供達は、送迎バスに乗って、仲間と楽しく幼稚園に通っている。そして、4月に小学校に入学されて、バスで通えない子供は歩いて登下校している。1年生最初の冬には、吹雪という辛い登下校の体験が待っている。小学1年生の子供が、吹雪の中を一人で下校中、途中で泣き崩れてしまい、通行人から送って頂いたという話がある。

昔は、地区の中にも同じ学年の生徒が大勢いた。今の時代は、一人か二人で、生徒が居



バスで登下校する小学生たち (1/26)

も安心できるように、バス利用範囲を広げることが大切であるが、どう考えるか。須賀教学課長 町のスクールバス運行管理規定により、使用対象者は、4km以上の児童が原則となっている。

将来における中学生的遠距離通学も想定し、対象地域等の新たな基準などを含めたスクールのバスシステムの全体像を検討し、より安全

で望ましい登下校体制を構築できるよう、計画性をもって取り組んでいきたい。

福寿会の地区開催を

早坂議員 福寿会がマナー化しており、全体でなく、各地区で出来ないものかという女性の声があるが、どう受け止めるか。また、政府は、働く女性を旗揚げしており、婦人会組織がますます衰退する方向にある。協力依頼が不可能になる時期もくるのでは。五十嵐健康福祉課長



羽場地区長寿を祝う会 (10/16)

各地区での開催となった場合、参加対象者が少なく、開催できない地区が出てくる。全体で開催する場合の交通利用を考えて、今年度、参加する際のバス料金を無料にした。また、婦人会の皆さんの協力なしではできないので、今年度から、福寿会終了後の祝品は、希望する地区において、事務局が郵送で対応するように改善している。

委員会の活動報告

第2貸工場の設計変更は、なぜ…?

総務文教常任委員会

問 大商金山牧場への第2貸工場は、当初設計から変更されて、多額の変更となっているが。

答 当初は、大きめの規模で設計した。その後、無駄をなくして規模を縮小しても対応ができるという話し合いとなり、変更となった。

問 空き家について、28年度の助成金件数が2件あるがその内容は。

答 1件は、危険とされてきた空き家である。もう1件は、危険空き家と認識してはなかったが、審査会で検討した結果、放置されると危険な空き家になると判断されたため、助成金を交付すべきとした。

問 町の行政放送が聞こえないが、要因、対策を、年内に回答をお願いしたいが。

答 町では、危険とされてきた空き家である。もう1件は、危険空き家と認識してはなかったが、審査会で検討した結果、放置されると危険な空き家になると判断されたため、助成金を交付すべきとした。



第2貸工場竣工式 (11/25)

30年対策(米の生産調整)の検討状況は —産業厚生常任委員会—

問 委員会開催の前に新設の上台地区融雪溝、上台視点場予定地の現地確認と㈱Nシップの農業施設の研修を実施した。

答 住宅リフォーム事業について、消雪用プール設置も対象になるのか。

問 外観は金山独自の規定はあるが、他は同じで克雪の項目に融雪のプールがあり、金山でも該当する。

問 30年対策と言われる米の生産調整に国が関与しないことに対する現状、県などの動きはどうなっているか。

答 県としても検討中で、町としても6月議会で話したとおり、平成30年問題を含めて金山の農業振興がどうあるべきかという計画を平成29年度に策定していく。

問 町道認定基準要綱のどの部分を修正するのか。

答 基準見直しについては、町民や議員の皆さんから納得いただける形にすべきであり、ご意見をいただきながらつめていきたい。

問 柳原源泉について、そのうち閉めるという話があるが、

答 柳原源泉については、そのうち閉めるという話があるが、

問 柳原源泉については、そのうち閉めるという話があるが、

答 柳原源泉については、そのうち閉めるという話があるが、



㈱Nシップへの現地調査 (12/8)

議会報告会での意見は、どうなった

議会活性化特別委員会報告

10／11く21まで開催した議会報告会については、議会だより前号（11／4発行107号）で掲載したが、報告会での意見等について持ち帰り、行政と確認や協議をした結果と、参加者からのアンケート集計については次のとおり。

意見 雪処理は大きな負担であり流雪溝は欠かせない整備である。県でも「健康長寿やまがた推進本部」で雪対策も入っている。県と連携して進めほしい。

回答 「健康長寿安心やまがた推進本部」は、年1回知事が座長となり開催されている。県の高齢者福祉の方向性は、各市町村の施策にも大きく影響を与え、当町においても町独自の高齢者福祉支援と連携を取りながら施策を展開している。

意見 救急指定を一時休止しているが、時間外に診療所にいった人が別の医療機関へ行ってもらいたいと言われた。簡単な

病気しか受け入れないのではないかと思う。

回答 救急指定を取り下げたため、医師が不在となる夜間は患者を診療することができない。このため近隣の医療機関を紹介させていただいている。土曜日の朝から日曜日の夕方や祝日の日中等は、山形大学から当直医師を派遣していただき、急患の診療ができるようにしている。

意見 福寿会の出席者が少ない。年々参加者が減少しているが、対象者は多くなり配付も大変である。マンネリ化もしている。福寿会の開催方法の見直しをしようか。

回答 地区での開催とな

った場合、参加対象者が少なく開催できなくなる地区が発生することも懸念される。多くの方に参加して楽しみにしていただけの福寿会の開催を目指す。

意見 認定子ども園から簡単な病気でも連絡があり迎えにいかねければならない。両親が共働きで祖父母もいなく大変である。今後、認定子ども園の体制づくりなど充実していただきたい。

回答 現在37・5を超えて熱を発する園児に関して保護者に連絡して医療機関への診察や自宅での療養をお願いしている。病児・病後児を受け入れる場合は、そのための施設と看護師・保育者等の有資格者の常駐といった基準を満たす必要がある。現状では受け入れは難しい。しかし、今後、町立金山診療所や中央公民館等に新たに病児・病後児を受け入れるための基準を満たす場所を確保して、

町と園が協力して受け入れ態勢を築いていくことは可能であると思うが、そのためには事前の協議や準備など準備機関の設立が必要となる。

意見 荒屋地内の道路が水路に崩れたりしている。めごたま園でもその水路からの水が必要なので、道路拡張に伴い水路整備を是非お願いしたい。

回答 道路改良工事により、岩蛇橋及び下堰橋の改修も予定されている。その前後の水路についても橋梁の改修に伴い影響が生じるため、改良工事の時期に併せて適宜改修を行いたい。

意見 病院通りの桟一本を杭で支えているが、台風がきた時などその状態で良いのか。街並みの商店等をライトアップしているが役場はしていない。役場の看板等がないので何の建物か聞かれる。金山町役場とわかるような表示をしていただきたい。

回答 ●歩道除雪を行う



参加者からの意見（旧中田小学校）

際に支障となるため、重い枝を根本から伐採して支柱を撤去した。

●街並みライトアップは、当初役場にも設置する予定であったが、民家に設置して予定数を超えたため設置できなかった。来年度は、七日町通り、内町お寺通りに範囲を広げ、役場正面玄関にも設置する予定である。

●役場の看板は、正面玄関わきの壁面に小ぶりの看板が1枚設置されているが、屋外に出ている看板がないため、町外からの方には分かりにくいと思われる。設置する場所、看板の大きさ、材質などを検討し、今年度内に結論を出していきたい。

意見 夏休み中に有屋小

学校の児童が稲沢の空き家に入って問題となった。解体できないものか。火災等が起きたら大変である。

回答 所有者は、解体・除去する意向はあるが資金的に難しいとの回答であった。

現状は、痛みが相当進んでおり歩行者や近隣に損害を与えた場合は所有者の管理責任になることや、町の助成金を活用した解体・除去について助言を行っている。

意見 街なか公営住宅は16棟ある。住んでいる人は他から来た人か。それとも、町内の人が住んでいるのか。

回答 町外からの転入世帯数は4世帯となっている。

意見 地区で町道路沿いの草刈をしているが、杉沢地区は世帯数が少なく大きな負担となっているため環境整備員の協力をお願いしたい。

回答 地区の協力なくしてきめ細かな対応ができない。負担の大きい地区は、町に相談いただいた環境



参加者からの意見（片貝公民館）

回答 除草剤の散布は、草の根を枯らすため路肩や法面が弱くなり崩れる場合もあり、極力使用していない。

意見 情報放送が聞こえにくい。災害時に聞こえないと情報が伝わらない。

回答 改善する方策の一つとして、携帯電話やスマートフォンで行政情報放送の内容をメールで配信している。また、地区からの要望を聞いたうえで、現在の設備で可能な限り、スピーカーの向きの調整やボリュームの調整をしていく。

意見 町道路沿いの草丈の伸びる場所へは除草剤の使用も検討いただきたい。

議会の主な動き (10月～12月まで)

10月 4日(火)	北海道斜里町議会視察来町	役場
10月 6日(木)	最上を拓く高規格道路建設促進同盟会	新庄市
10月 9日(日)	町産業まつり	町内
10月11日(火)	議会報告会 金山地域	羽場公民館
10月13日(木)	議会報告会 山崎・上台	山崎公民館
10月14日(金)	最上地方町村議会議員研修	大蔵村
10月17日(月)	県町村議長会議員研修	山形市
	議会報告会 西郷地域	谷口公民館
10月18日(火)	議会報告会 有屋地域	入有屋公民館
10月19日(水)	最上総合支庁長へ上台川河床整正など意見書提出	新庄市
10月20日(木)	議会報告会 東郷地域	片貝公民館
	議会運営委員会・10月議会臨時会	役場
10月21日(金)	議会報告会 中田地域	旧中田小学校
10月24日(月)	議会広報常任委員会	役場
10月28日(金)	議会広報常任委員会	役場

11月 3日(木)	公民館大会	中央公民館
11月 6日(日)	前参議院議員 岸宏一氏に感謝する会	改善センター
11月 9日(水)～12日(土)	全国議長大会、最上地方町村議長研修	都内、兵庫県
11月15日(火)	常任委員会合同研修	岩手県山田町
11月16日(水)	常任委員会合同研修	岩手県雫石町
11月21日(月)	全国町村議会議長会	
	三宅総務部長からの議員研修	役場
11月25日(金)	第2貸工場竣工式	町内
11月29日(火)	政策提言提出、議会運営委員会、政策顧問大石先生政策講演会	役場

12月 1日(木)	区長と議員の語る会	町内
12月 4日(日)	家庭の日運動推進大会	町内
12月 7日(水)～12日(月)	12月議会定例会・各種委員会	役場
12月16日(金)	総務文教常任委員会 教育現場調査	町内
12月26日(月)	高橋 善廣 氏叙勲受章祝賀会	改善センター

10月議会臨時会

役場庁舎ボイラー修繕

670万円増額補正

10月議会臨時会が10月20日開催され、庁舎ボイラー修繕費を盛り込んだ一般会計補正予算（5号）について全員賛成で可決した。

質疑のあらまし

木質ボイラー設置の検討を

中村忠行議員 経済効果、林業振興、雇用の促進を図るため、公共施設の木質ボイラー設置コストの試算と導入の検討をしようか。

町長 林業の底上げと町のエネルギー活用のあり方として内部で検討したい。

性能検査を早くできないか

寒河江宏一議員 修繕が冬の時期になる前にボイラーの性能検査を早くすべきではなかったか。

総務課長 ボイラーの事前点検はしている。気候の関係もあり、9月30日に整備清掃を行ない10月4日に検査となった。

10月議会臨時会提出議案

議運番号	会 計 名	補正の主な内容	補正額(万円)	補正後(万円)
75号	一般会計補正予算（第5号）	役場庁舎ボイラー故障による修繕費	670	48億8270

常任委員会合同研修

11月15日～16日

常任委員会が所管する事項について識見を広め、議会に関するアンケートでの意見を町政に反映し、安全で安心して暮らすため防災力の向上と、道の駅を拠点とした6次産業化の推進を目的に岩手県山田町、雫石町を視察した。

山田町 （震災復興の取り組みと防災力強化）

山田町は、5年前に発生した東北大震災により、最大で25mの津波に襲われ死者・行方不明者数825人と、岩手県沿岸部の自治体の中でもとりわけ大きな



山田町震災復興研修（11/15）

な人的被害が発生した。被災家屋の合計は、3369世帯、全世帯の46・7%と甚大な被害に見舞われた。このため1940戸の応急仮設住宅を建設し対応してきた。その後、町営災害公営住宅等を計画に基づいて整備し、順次入居している。また、地域毎に土地利用を定め復興に取り組んでいる。山田町の復興ビジョンは、「二度と津波による犠牲者を出さない」を基本理念に、津波から命を守るまち

議会全員協議会

12月9日に議会全員協議会を開催し、介護保険制度において、29年度から介護予防・日常生活支援総合事業（総合事業）が創設されることになり、説明を受けた。また、最上広域で検討している看護師養成機関設置の件など協議をおこなった。概要は、次のとおり。

①平成29年度介護予防・日常生活支援事業の概要について

団塊の世代が75歳を迎える2025年に向けて、ひとり暮らし高齢者、高齢者夫婦のみの世帯、そして認知症高齢者が増加することが予想される。住み慣れた地域で生活できるよう地域全体で支え、高齢者の持つ能力を活かして要介護状態を予防することが重要であるため、要支援1と2の認定を受けている方が予防給付（介護保険料から給付）から町の事業に移行するもので事業の内容、利用の流れなどの説明を受けた。

②最上広域での看護師養成機関設置の件について

最上広域市町村圏事務組合では、専門員を配置して看護師養成機関の設置を検討している。これまで概要の説明を受けてきたが、財政負担（広域分担金）を伴うものであり、町議会としては、高校再編の動きを見極め看護学科設置を県へ要望することや、それに伴う施設を活用した民間での運用など、町村負担の少ない方法で検討すべきとする結論に至った。

③議会広報原稿に係る議事録の取扱いについて

議会、だよりについては、議事録の原稿を確認して誤った広報がされないよう留意している。これまで議事録の原稿を印刷して対応していたが、経費と労力の削減を図るため電子メールによる配信をすることにした。



山田町被害状況の説明

づくり、住民が主体となった地域づくりに取り組んでいる。一日も早い復興を祈念するとともに、安全なまちづくりについて重要性を改めて認識したところである。



雫石町加工施設（11/16）

雫石町

（道の駅「あねっこ」を拠点とした6次産業化と観光）

岩手県の県都、盛岡市の西方16kmに位置し、人口17250人、議員数16名で基幹産業は、農業と観光を中心としている。道の駅「あねっこ」は、町中心部から秋田県よりの国道46号線に設置され、温泉



道の駅「あねっこ」での研修

交流室を備えた交流拠点施設とレストラン、特産品や農産物の直売所がある農村資源活用施設のほか農林水産物の加工所、体験施設が併設されており、東北の道の駅満足度第3位にランキングされている。産直販売は、100名の組合員で運営され年間1億2千万円ほどの売り上げがある。

教育現場調査

12月16日に総務文教常任委員が、町内の小学校3校と中学校の施設調査と学校長から教育現場の課題、児童・生徒の状況など説明を受けた。常任委員会で改善策などを検討し、12月26日に教育委員会と協議した。その主なものは次のとおり。

- ・夏場の暑さ対策として、部分的なエアコンの設置も含め財政計画に盛り込み年次計画を立てた整備の検討について
- ・児童・生徒の安全を確保するため各学校施設の修繕の対応について
- ・現場で働く町職員の環境について
- ・その他、登下校の安全対策等



有屋小学校での意見交換（12/16）

地方議会の 課題について学ぶ

地方の人口減少が進む中、町村議会が抱える課題も大きくなっており、さらには、政務活動費の不正が全国的な問題となっている。このようなことから、全国町村議会議長会総務部長である三宅達也氏と山形県町村議会議長会武田裕樹氏を講師に地方議会としての対応や、住民から理解を得られる議員活動、議会活性化方策等について学び、議員としての活動や存在感のある議会のあり方について意を新たにした。



これからの地方議会の課題は（11/21）

区長と議員の語る会

例年開催している「区長と議員の語る会」が農村環境改善センターで開催され、議員全員が出席して区長と意見交換を行った。松田順一区公連会長と柴田議長が挨拶をした後、議員全員が町の主要施策についての考えを述べ、活発な意見交換を行った。



恒例となっている語る会（12/1）

町民の声



区公連会長
松田 順一さん
(朴山)

議会と一体となった地域づくりを

議会の皆様には、町民との意見交換の場づくりや常日頃の精力的な活動に對して敬意を表します。また、「議会報告会」の開催や区公連事業である「町議会議員と区長との語り合う会」におきましては、全議員の方々と意見交換をさせていただき感謝申し上げます。このように日頃から町民の声を受け止めながら前向きにまちづくりを進めようとしている議会の姿勢は、私たち町民にも深く浸透してきているのではないかと思います。同時に私たちと議会・行政の方向性を見極め、地域づくり、まちづくりに微力ながら貢献していけたらと考えています。

政策提言への意見

一つ目は、平成28年度の議会報告会において提言内容が報告されました。その中の一つとして産業振興について、農業を中心に進めていきたいという提言がありました。町民が一体となり地域振興を進めるためには、農業だけ

ではなく他産業についての方向性も打ち出しながら取り組んでみてはどうでしょうか。二つ目は、まちづくりや私たちの生活のために進めていかなければならないこと、またはなかなか進めづらいことなどがあればその内容をお知らせいただきたいと思っています。さらには決議された内容などは議会・行政・町民がスピード感をもって総力戦で進めていき、結果を出していくことで議会のさらなる活性化や町民からの信頼が深まるような気がします。三つ目は、開かれた議会を目指し、議員の皆様におかれましては日々努力されていることと存じますが、それぞれのお立場から議員としての志を公約してみたいかがでしょうか。その内容の経過説明や問題点について、町民の皆さんに逐次お知らせしていくことで議員一人ひとりの町政に対する想いや責任感などを感じていただけるのではないのでしょうか。以上についてご一考いただければ幸いです。



区長と議員の語る会

議会豆知識 No.7

●議員の義務

①会議に出席する義務

招集の当日は、開議の定刻前まで参集して議長へ通告し、事故のため出席できない場合は、その理由を付けて開議定刻前まで議長に届出が必要です。

②委員に就任する義務

議員は、少なくとも一つの常任委員会の委員に就任し、議長が指名することになっています。なお、任期は2年です。

③規律を守る義務

議員は、住民の代表としての議会の品位を重んじ、会議の合理的な運営に協力し、議会の秩序保持に努める。また、法律では、無礼な言葉や他人の私生活にわたる言論は禁止しています。



3月議会定例会は3月7日(火)～14日(火)の予定です
町民の皆様の傍聴をお待ちしています

ギインコラム No.1

某町民から議員が自由に書けるものがあっても良いのではないかとこの意見をいただき「ギインコラム」として連載していきたい。コラムで思い出すのが朝日新聞「天声人語」である。私は、山形新聞だが単行本として出されていて読んで今でも「力ガミはなぜ左右反対に写るが、上下反対に写らないのか」から始まるコラム。光の屈折ではあるが、目の前にあるものを当たり前と思わず見ていく視点の大切さを筆者は、経済から政治、社会の動きまで例えてくれ、その後も頭の中を支配している。これからも出来るだけそんな視点を持って生きたい。

(文責 沼澤 道也)

発行責任者

■ 議会議長 柴田 清正

議会広報常任委員会

■ 委員長 沼澤 道也
■ 副委員長 中村 忠行
■ 委員 高橋 芳夫
■ 委員 高橋 浩樹
■ 委員 早坂 憲明

* * * * *